

第 123 回
日本肺癌学会関西支部学術集会
プログラム・抄録集

会期 令和8年2月14日 (土)

会場 大阪国際会議場

会長 木島 貴志

兵庫県医科大学医学部 呼吸器・血液内科学
胸部腫瘍学 教授

第124回日本肺癌学会関西支部学術集会 演題募集

第124回の関西支部学術集会を下記の要領で開催いたします。多数のご演題・ご参加をお願いいたします。

会 期：2026年7月25日（土）

会 場：大阪国際会議場

（〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3番51号）

参加費：医師3,000円 メディカルスタッフ・初期研修医1,000円

〈演題応募〉

■要望演題：（予定）

1. EGFR 陽性肺癌の治療
2. 肺がん患者のサポーターケア
3. 切除可能非小細胞肺癌に対する集学的治療
4. 肺癌薬物療法における有害事象マネジメント
5. ハイリスク症例に対する治療

■一般演題：口演 又は 示説（予定）

■応募要領：演題登録はオンライン登録を予定しております。詳細はHPに掲載いたします。

- 1) 抄録は演題名、施設名、所属、演者名・共同演者名を含まず、400字以内です。
- 2) 演題応募の際は、演題登録画面より連絡先、電話番号、E-mailアドレスや応募カテゴリーの希望などの必要事項および抄録内容を入力し、登録して下さい。

演題登録期間（予定）： 2026年2月24日（火）～4月7日（火）

ご 注 意：1) 抄録は雑誌「肺癌」に後日掲載されます。

- 2) 要望演題及び一般演題の採否、発表時間などについては会長にご一任ください。

第124回日本肺癌学会関西支部学術集会
会 長 倉田 宝保
関西医科大学 呼吸器腫瘍内科学講座 主任教授
事務局長 池田 慧
関西医科大学 呼吸器腫瘍内科学講座 准教授

《運営事務局》 株式会社JTB 西日本MICE事業部
〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜1丁目1-27
大阪堂島浜タワー 5階（※総合受付9階）
TEL：050-1732-4458（平日9：30～17：30）
E-mail：124haigan-kansai@jtb.com

会場アクセス

会場：大阪国際会議場

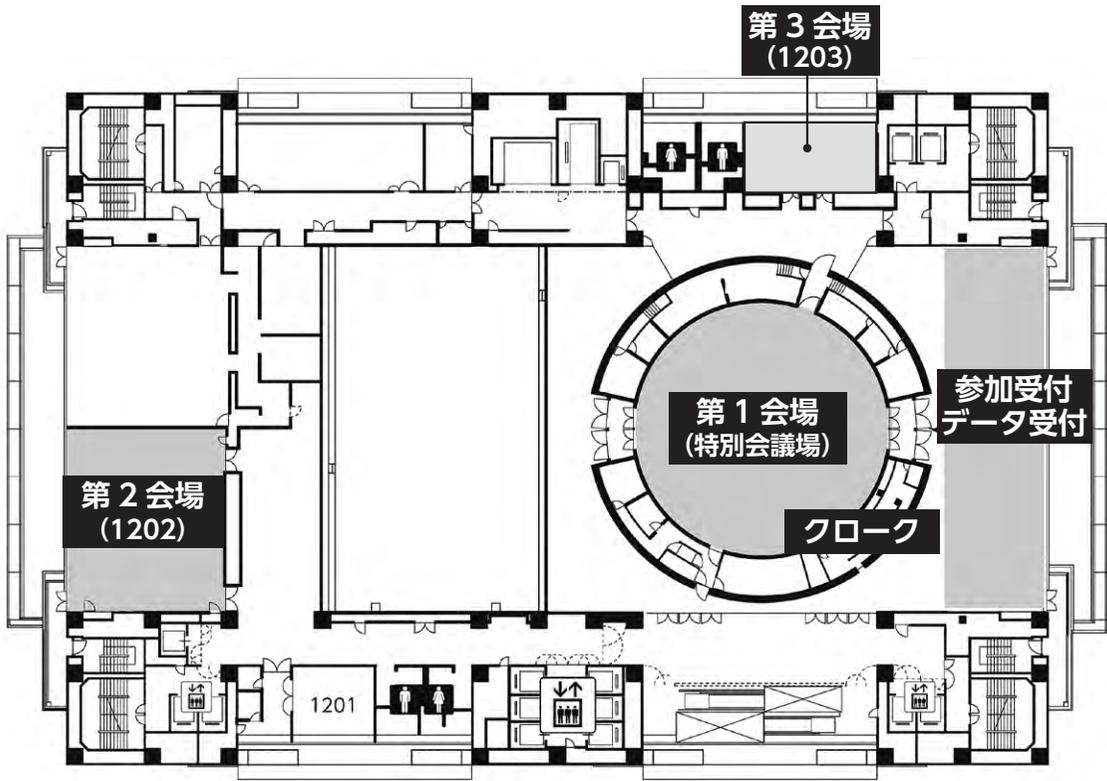
〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51

TEL：06-4803-5555 (代)



- 京阪中之島駅（大阪国際会議場）下車すぐ（リーガロイヤルホテルと地下通路にて直結）
- JR東西線「新福島駅（2番出口）」から約8分
- 阪神電鉄「福島駅」から約8分
- 地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」から約12分

会場案内図



参加者へのご案内

1. 参加費

学会当日、参加受付（12F ホワイエ）にて参加費をお支払いいただき、参加証をお受け取りください。

参加受付は8：30より開始します。なお、当日は現金のみの受付とさせていただきますので、ご準備をお願いいたします。

区分	参加費
医師	3,000円（不課税）
初期研修医・メディカルスタッフ・企業	1,000円（不課税）

2. プログラム・抄録集

関西支部会員の方には事前にプログラム・抄録集を送付いたしますので、必ずご持参ください。当日会場で1,000円（課税）にて販売いたしますが、部数に限りがございます。

3. クローク

12F ホワイエの常設クロークをご利用ください。

4. 優秀演題発表

優秀演題を発表・表彰しますので、多数ご出席ください。

日 時： 2月14日（土）17：15～17：25

会 場： 第1会場（12F／特別会議場）

5. 理事会

日 時： 2月14日（土）11：00～11：30

会 場： 会議室1101

出席対象： 理事・監事

6. 評議員会および総会

評議員および会員の方はご出席ください。

日 時： 2月14日（土）12：50～13：20

会 場： 第1会場（12F/特別会議場）

7. 開催事務局

会 長 木島 貴志 兵庫県医科大学医学部 呼吸器・血液内科学 胸部腫瘍学 教授

事務局長 藤本 大智 兵庫県医科大学医学部 呼吸器・血液内科学 胸部腫瘍学 特任講師

8. 運営事務局

株式会社JTB 西日本MICE事業部

〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜1丁目1-27 大阪堂島浜タワー 5階（※総合受付9階）

TEL：050-1732-4458（平日9：30～17：30）

E-mail：123haigan-kansai@jtb.com

座長・発表者へのご案内

1. 発表時間

下記の発表時間をお守りいただき、座長の指示に従ってご発表をお願いいたします。

セッション	発表時間
学術セミナー	50分（質疑応答含む）
ランチョンセミナー	50分（質疑応答含む）
スイーツセミナー	50分（質疑応答含む）
一般演題（口演）	発表6分・質疑2分

2. 抄 録

すでに提出された抄録は学会誌『肺癌』に掲載します。抄録の事前訂正は受付いたしません。訂正をご希望の方は学会当日、参加受付（12F/ホワイエ）にプリントアウト2部（座長用・事務局用）をご提出いただいたうえで、Wordファイルをメール添付にて運営事務局（123haigan-kansai@jtb.com）までご提出ください。抄録は演題名、施設名、所属、演者名、共同演者名を含め400字以内です。

3. 利益相反の開示について

全ての発表の筆頭演者は、発表時における利益相反事項の自己申告が必要です。開示方法や詳細は次頁をご参照ください。

4. 口演発表の方へ

- (1) ご発表の30分前までに、データ受付（12F/ホワイエ）にて試写およびデータをご提出ください。

発表データは完成版のみお持ちください。データ受付は8：30より開始します。

- (2) PowerPoint（Windows版）で作成したデータをUSBメモリー、あるいはPCにてご持参ください。なお、主催者側で用意するPCのOSはWindows 11で、PowerPointのバージョンはMicrosoft PowerPoint 2016/2021で、スクリーンは16：9のワイドサイズです。

※動画が含まれる場合はPC本体のお持ち込みを強くおすすめいたします。音声は受け付けられません。

※Macintoshで作成されたデータについては、ご自身のPCをお持ち込みください。

※PCをお持ち込みになる場合は、PCに付属のACアダプタを必ずご持参ください。

※会場で用意するPCケーブルコネクタの形状はHDMIです。この形状に合ったPCをご使用ください。

また、この形状に変換するコネクタを必要とする場合は必ずご自身でお持ちください。

筆頭発表者ならびに研究責任者の利益相反の開示について

学術集会における臨床研究に関する発表演題での公明性を確保するため、演題の筆頭発表者、並びに研究責任者は、それぞれ自己について、利益相反事項を必ず申告してください。

演題発表時には、スライドへの記載が必要となります。開示フォームPowerPointは、日本肺癌学会HPよりダウンロードいただけます。

日本肺癌学会HP「肺癌学会について > 利益相反規程」

<https://www.haigan.gr.jp/about/coi/>

※口演の場合はスライド2枚目で、示説の場合はポスター掲示の最後で開示してください。

※利益相反【なし】の場合も必ず【なし】として記載してください。

学術集会での発表に際しての個人情報開示項目

(2025年1月1日から2026年12月31日までの分についての開示をしてください)

I. 個人の利益相反記載事項

1. 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無
1つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上の場合、当該団体名
2. 株の保有
1つの企業からの配当利益等が年間100万円以上、あるいは当該全株式の5%以上を所有する場合、当該企業名
3. 企業や営利を目的とした団体からの特許権使用料
1つの権利使用料が年間100万円以上の場合、当該企業名
4. 企業や営利を目的とした団体から、会議の出席（発表）に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当（講演料など）
1つの企業・団体からの講演料が年間50万円以上の場合、当該企業名
5. 企業や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払った原稿料
1つの企業・団体からの原稿料が年間50万円以上の場合、当該企業名
6. 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費
1つの企業・団体からの研究費が年間100万円以上の場合、当該企業名
7. 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学（奨励）寄付金
1つの企業・団体からの寄付金が年間100万円以上の場合、当該企業名
8. 企業などが提供する寄付講座
企業・組織や団体が提供する寄付講座に申告者らが所属している場合、当該団体名
9. その他の報酬（研究とは直接無関係な、旅行、贈答品など）
1つの企業・団体からの贈答品などが総額5万円以上の場合、当該企業名

II. 研究発表の場合は以下を併記する

当該研究の資金源と研究代表者（資金提供を受けた者）

例) ○○財団「○○癌に対する集学的治療研究○○事業」研究代表者 ○○
厚生労働科学研究費「○○に関する○○補助研究事業」 研究代表者 ○○
受託研究「○○に関する臨床研究」○○株式会社 研究代表者 ○○

■利益相反についてのお問合せ先

ご不明な点があれば、以下にメールでお問い合わせください。その際には、タイトルに「利益相反について」と記してください。

特定非営利活動法人 日本肺癌学会事務局

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-8-16 ぶよおビル4階

E-mail : office@haigan.gr.jp

学会進行予定表

	第1会場 (口演) 12F/特別会議場	第2会場 (口演) 12F/会議室1202	第3会場 (口演) 12F/会議室1203+控室
8:30			
9:00	開会の辞 (8:55 ~ 9:00)		
9:30	学術セミナー1 (9:00 ~ 9:50) 座長：林 秀敏 演者：赤松 弘朗 共催：ヤンセンファーマ (株)	【要望演題】 周期免疫チェックポイント療法症例 (9:00 ~ 9:40) No. 1 ~ 5 座長：濱田 顕	外科治療① (9:00 ~ 9:40) No. 38 ~ 42 座長：大塩 恭彦
10:00	学術セミナー2 (9:55 ~ 10:45) 座長：立原 素子 演者：二宮 貴一郎 共催：第一三共 (株)	学術セミナー3 (9:45 ~ 10:35) 座長：西野 和美 演者：池田 慧 共催：ファイザー (株)	外科治療② (9:45 ~ 10:25) No. 43 ~ 47 座長：相分 秀直
10:30			【要望演題】 稀少ドライバー遺伝子陽性患者 (10:30 ~ 11:34) No. 48 ~ 55 座長：谷崎 潤子
11:00	学術セミナー4 (10:50 ~ 11:40) 座長：藤本 大智 演者：高濱 隆幸 共催：日本化薬 (株)	【要望演題】 サルベージ手術 (10:40 ~ 11:36) No. 6 ~ 12 座長：岡見 次郎	
11:30			
12:00	ランチョンセミナー1 (11:50 ~ 12:40) 座長：木島 貴志 演者：竹中 賢 共催：アストラゼネカ (株)	ランチョンセミナー2 (11:50 ~ 12:40) 座長：栗林 康造 演者：松本 啓孝 / 秦 明登 共催：日本イーライリリー (株)	ランチョンセミナー3 (11:50 ~ 12:40) 座長：川口 知哉 演者：林 秀敏 共催：日本ベーリンガーインゲルハイム (株)
12:30			
13:00	評議員会および総会 (12:50 ~ 13:20)		
13:30	特別講演 (13:30 ~ 14:30) 座長：木島 貴志 演者：前村 嘉昭	薬物療法① (13:30 ~ 14:18) No. 13 ~ 18 座長：山田 忠明	チーム医療・緩和ケア・有害事象 (13:30 ~ 14:02) No. 56 ~ 59 座長：太田 正秀
14:00			薬物療法② (14:07 ~ 14:55) No. 60 ~ 65 座長：田村 洋輔
14:30	学術セミナー5 (14:35 ~ 15:25) 座長：里内 美弥子 演者：立原 素子 / 栗林 康造 共催：小野薬品工業 (株) / プリストル・マイヤーズ スクイブ (株)	【要望演題】 タルラタマブ使用経験① (14:25 ~ 15:29) No. 19 ~ 26 座長：池田 慧	【要望演題】 縦隔腫瘍 / 中皮腫 (15:00 ~ 16:04) No. 66 ~ 73 座長：藤本 大智
15:00			
15:30	スイーツセミナー (15:30 ~ 16:20) 座長：里内 美弥子 演者：山本 信之 共催：MSD (株)	【要望演題】 タルラタマブ使用経験② (15:36 ~ 16:32) No. 27 ~ 33 座長：佐藤 悠城	
16:00			基礎・トランスレーショナル研究 / その他 (16:09 ~ 17:13) No. 74 ~ 81 座長：立原 素子
16:30	学術セミナー6 (16:25 ~ 17:15) 座長：藤阪 保仁 演者：田宮 朗裕 共催：ノボキユア (株)	放射線治療・画像診断 (16:39 ~ 17:11) No. 34 ~ 37 座長：金田 裕靖	
17:00			
17:30	優秀演題の表彰・閉会の辞 (17:15 ~ 17:25)		

第1会場

開会の辞

8:55～9:00

会長 木島 貴志
兵庫医科大学医学部 呼吸器・血液内科学 胸部腫瘍学

学術セミナー1 アミバンタマブ皮下投与の登場： 何が変わってくる？ EGFR変異陽性NSCLCの治療戦略

9:00～9:50

座長 林 秀敏
近畿大学医学部 内科学教室腫瘍内科部門

『アミバンタマブ皮下投与の登場：
何が変わってくる？ EGFR変異陽性NSCLCの治療戦略』
赤松 弘朗
和歌山県立医科大学 内科学第三講座

共催：ヤンセンファーマ株式会社

学術セミナー2 HER2 変異陽性肺癌に対する抗HER2療法の手引き ～最新エビデンスとガイドラインから

9:55～10:45

座長 立原 素子
神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 呼吸器内科学分野

『HER2変異陽性肺癌に対する抗HER2療法の手引き
～最新エビデンスとガイドラインから～』
二宮 貴一郎
岡山大学病院 ゲノム医療総合推進センター

共催：第一三共株式会社

学術セミナー4 ROS1融合遺伝子陽性肺癌に対する薬物療法

10:50～11:40

座長 藤本 大智
兵庫医科大学医学部 呼吸器・血液内科学 胸部腫瘍学

『ROS1融合遺伝子陽性肺癌に対する薬物療法』
高濱 隆幸
近畿大学医学部 内科学教室腫瘍内科部門

共催：日本化薬株式会社

ランチョンセミナー1 改めて局所進行肺癌に対する周術期治療を考える

11:50～12:40

座長 木島 貴志
兵庫医科大学医学部 呼吸器・血液内科学 胸部腫瘍学

『改めて局所進行肺癌に対する周術期治療を考える』
竹中 賢
産業医科大学 第2外科学

共催：アストラゼネカ株式会社

評議員会および総会

12:50 ~ 13:20

特別講演

13:30 ~ 14:30

座長 木島 貴志
兵庫医科大学医学部 呼吸器・血液内科学 胸部腫瘍学

『なぜ伝わらない？ なぜ育たない？ なぜ辞める？
疲弊しない医療者は"何を"変えたのか？ ~コーチングの限界を超えた「対話の処方箋」~』

前村 嘉昭

株式会社Grow With 代表取締役

思考と行動の調律コンサルタント/ビジネスコーチ&ヒューニスト

学術セミナー 5 非小細胞肺癌におけるがん免疫療法

14:35 ~ 15:25

座長 里内 美弥子
兵庫県立がんセンター 呼吸器内科

『PD-L1陰性でも長期生存を目指す ~イピリムマブの果たす役割~』

立原 素子

神戸大学大学院医学研究科 内科学講座呼吸器内科学分野

『胸膜中皮腫免疫療法の分岐と課題 — Et tu, Ipilimumab?』

栗林 康造

兵庫医科大学 呼吸器・血液内科学

共催：小野薬品工業株式会社/ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

スイーツセミナー 非小細胞肺癌(NSCLC)治療 up to date ~周術期から進行再発期まで~

15:30 ~ 16:20

座長 里内 美弥子
兵庫県立がんセンター 呼吸器内科

『非小細胞肺癌(NSCLC)治療 up to date ~周術期から進行再発期まで~』

山本 信之

和歌山県立医科大学 内科学第三講座

共催：MSD株式会社

学術セミナー 6 NSCLC 二次治療計画 (TTField展開)：オプチューンルア × PD-1/PD-L1阻害剤併用

16:25 ~ 17:15

座長 藤阪 保仁
大阪医科薬科大学医学部 内科学講座腫瘍内科学

『NSCLC 二次治療計画 (TTField展開)：オプチューンルア × PD-1/PD-L1阻害剤併用』

田宮 朗裕

国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 内科

共催：ノボキア株式会社

優秀演題の表彰・閉会式

17:15 ~ 17:25

第2会場

【要望演題】 周術期免疫チェックポイント療法症例

9:00～9:40

座長 濱田 顕
近畿大学医学部 外科学教室 呼吸器外科部門

- 術前補助化学免疫療法中に著明な縦隔肺門リンパ節腫大を認めた非小細胞肺癌の一例
神戸大学医学部附属病院 呼吸器内科 ○原田 凜太郎、桂田 直子、賀来 承、山崎 瞬、
矢谷 敦彦、羽間 大祐、立原 素子
神戸大学医学部附属病院 呼吸器外科 田根 慎也
神戸大学医学部附属病院 病理診断科 田中 伴典
- 手術適応のある大動脈瘤を合併したIII期肺扁平上皮癌に対して、他科連携と術前複合免疫療法によって両疾患の手術が実施できた1例
京都府立医科大学附属病院 卒後臨床研修センター
○田村 早希
京都府立医科大学附属病院 呼吸器内科 小川 剛央、河内 勇人、辻 尚朗、高橋 祐希、
高山 浩一、山田 忠明、岩破 将博、徳田 深作、
西岡 直哉
京都府立医科大学附属病院 呼吸器外科 古谷 竜男、中園 千晶
京都府立医科大学附属病院 心臓血管外科 眞鍋 嘉一郎
- 当院における切除可能非小細胞肺癌に対する術前免疫療法の病理学的効果および安全性の検討
近畿大学 医学部外科学教室呼吸器外科部門 ○緒方 琴美、福田 祥大、濱田 顕、老木 華、仁科 麻衣、
西野 将矢、千葉 真人、伊藤 正興、武本 智樹、
氏家 秀樹、津谷 康大
- 当院での非小細胞癌に対する術前導入免疫療法を行った症例の検討
神戸大学 大学院医学研究科外科学講座呼吸器外科学分野
○酒井 菜々花、田根 慎也、井澤 良介、土井 健史、
小川 裕行、法華 大助、北村 嘉隆、眞庭 謙昌
神戸大学 大学院医学研究科内科学講座呼吸器内科学分野
羽間 大祐、桂田 直子、永野 達也、立原 素子
神戸大学 医学部附属病院病理診断科・医学研究科病理診断学分野
神保 直江
- 当院におけるNeo-adjuvant immunotherapyを行った5症例の経験
宝塚市立病院 呼吸器内科・腫瘍内科 ○新名 航平、永木 佑一良、藤岡 毅、西村 駿、発 忠信、
吉積 悠子、岡本 忠司、高瀬 直人、片上 信之
宝塚市立病院 臨床病理科 松尾 祥平

学術セミナー3 ALK肺癌、PFS 5年時代へ。サステナブルな治療を実現する TKI選択と支援

9:45 ~ 10:35

座長 西野 和美
大阪国際がんセンター呼吸器内科

『ALK肺癌、PFS 5年時代へ。サステナブルな治療を実現するTKI選択と支援』

池田 慧

関西医科大学 呼吸器腫瘍内科学講座

共催：ファイザー株式会社

【要望演題】 サルベージ手術

10:40 ~ 11:36

座長 岡見 次郎
大阪国際がんセンター 呼吸器外科

6. アテゾリズマブ投与後にサルベージ手術を施行した肺扁平上皮癌の1例
りんくう総合医療センター 呼吸器外科 ○土井 貴司、高橋 朋宏、磯野 友美
りんくう総合医療センター 病理診断科 今北 正美、中井 信子
7. 当院で免疫療法後にサルベージ術を行なった5例の検討
近畿大学 医学部 外科学教室 呼吸器外科部門
○仁科 麻衣、老木 華、福田 祥大、小原 秀太、
西野 将矢、濱田 顕、千葉 真人、伊藤 正興、
武本 智樹、氏家 秀樹、津谷 康大
8. 子宮内膜腺癌肺転移再発に対し左上葉切除+肺動脈形成術により長期無再発生存を得た一例
京都府立医科大学 呼吸器外科学 ○岡垣 志歩、下村 雅律、岡田 悟、古谷 竜男、
中園 千晶、内堀 篤樹、奥 乃野香、井上 匡美
9. 急速な病勢進行を認めたIVB期非小細胞肺癌（NSCLC）に対してABCP療法を施行した後、腫瘍内局所感染を反復したためSalvage手術を行い、病理学的寛解を得た一例
大阪けいさつ病院 呼吸器内科 ○朝川 遼、杉浦 朱夏、小山 広介、本郷 卓英、
神島 望、所司原 奈央、二見 悠、仲谷 健史、
山本 傑
大阪けいさつ病院 呼吸器外科 松田 峻佑、洪 雄貴、小来田 佑哉、坂巻 靖
10. EGFR変異陽性腺扁平上皮癌に対しオシメルチニブ投与後に手術を施行し、長期の無再発生存を達成した1例
大阪国際がんセンター 呼吸器外科 ○小林 政雄、力石 尚也、徳永 拓也、鮫島 弘睦、
井口 貴文、馬庭 知弘、岡見 次郎
11. 進行期肺扁平上皮癌に対してChemo-IO投与後にサルベージ手術を施行した1例
関西医科大学 呼吸器腫瘍内科学 ○家敷 美佳、竹安 優貴、荒木 啓吾、北川 真愛、
横原 なつこの、永田 裕太郎、吉田 清里、生駒 龍興、
中濱 かほり、勝島 詩恵、山中 雄太、池田 慧、
倉田 宝保

12. Erlotinib+Bevacizumab投与中に気管支肺動脈瘻を合併し、サルベージ手術が長期生存に寄与したと考えられるEGFR遺伝子変異陽性肺腺癌の一例

関西医科大学 呼吸器腫瘍内科 ○横原 なつの、中濱 かほり、荒木 啓吾、北川 真愛、
永田 裕太郎、藤井 一起、吉田 清里、生駒 龍興、
竹安 優貴、勝島 詩恵、山中 雄太、池田 慧、倉田 宝保

ランチョンセミナー 2

11:50 ~ 12:40

座長 栗林 康造

兵庫医科大学医学部呼吸器・血液内科学 胸部腫瘍学

『Oncomine・Amoy・コンパクトパネルによる肺癌遺伝子検査；RET融合を含めた最適プラットフォーム選択』

松本 啓孝

兵庫県尼崎総合医療センター 呼吸器内科

『L858R-EGFR遺伝子変異陽性肺癌の治療戦略 ～カード使い切り戦略を考える～』

秦 明登

神戸低侵襲がん医療センター 呼吸器腫瘍内科

共催：日本イーライリリー株式会社

薬物療法①

13:30 ~ 14:18

座長 山田 忠明

京都府立医科大学 呼吸器内科

13. アミバンタマブに対するInfusion-related Reaction (IR) が繰り返し生じた1例

社会医療法人財団聖フランシスコ会 姫路聖マリア病院 呼吸器内科

○長野 昭近、中島 康博、南 大輔

14. EGFR L858R/exon19欠失/T790Mの複合変異が疑われた肺腺癌の一例

社会医療法人神鋼記念会神鋼記念病院 呼吸器センター

○戸谷 梨沙、難波 晃平、大塚 浩二郎、赤松 歩実、

水城 裕加里、藤本 佑樹、稲尾 崇、門田 和也、

笠井 由隆、榊屋 大輝、鈴木 雄二郎

社会医療法人神鋼記念会神鋼記念病院 病理診断科

大林 千穂

15. アミバンタマブ併用療法中に発症した十二指腸炎の一例

滋賀医科大学 呼吸器内科 ○市田 周、黄瀬 大輔、仲川 宏昭、御園生 昌史、

奥田 祥伍、横江 真弥、角田 陽子、山崎 晶夫、

山口 将史、中野 恭幸、藤野 真由、植木 康光、

大岡 彩

滋賀医科大学 消化器内科 西山 理久哉

16. 局所根治照射と抗VEGF短期併用によりEGFR-TKIを変更せず11年間継続し得たEGFR L858R肺腺癌の一例

明石医療センター 呼吸器内科 ○岡村 佳代子、片山 大地、宇都宮 菜那、古川 湧也、

井上 拓弥、藤本 葉月、池田 美穂、畠山 由記久、

大西 尚

17. 放射線化学療法後のデュルバルマブ維持療法中に再発し、オシメルチニブ開始後にふらつき/歩行障害を認めたEGFR遺伝子変異陽性肺癌の一例
 神戸労災病院 呼吸器内科 ○白井 光太郎、川端 宏樹、瓜生 拓夢、水野 航佑、菅 奨之、藤本 哲志、石井 達也
 神戸労災病院 呼吸器外科 富安 祐太郎、仲田 庄志
18. PD-L1 tumor proportion score (TPS) 1-49%の非小細胞肺癌に対するペムブロリズマブ単剤療法の実臨床における患者背景と安全性について
 大阪大学医学部附属病院 呼吸器・免疫内科 ○宮崎 暁人、松本 錦之介、金岡 賢輔、久下 朋輝、白山 敬之、塚口 晃洋、山内 佳二郎、武田 吉人、熊ノ郷 淳
 大阪国際がんセンター 呼吸器内科 田宮 基裕、小牟田 清英
 近畿中央呼吸器センター 呼吸器腫瘍内科 田宮 朗裕
 大阪はびきの医療センター 肺腫瘍内科 鈴木 秀和
 大阪刀根山医療センター 呼吸器腫瘍内科 三橋 靖大、森 雅秀
 大阪けいさつ病院 呼吸器内科 森友 昂貴
 日本生命病院 呼吸器・免疫内科 甲原 雄平
 市立池田病院 呼吸器内科 米田 翠
 市立豊中病院 呼吸器内科 森村 治
 大阪医療センター 呼吸器内科 東 浩志
 大阪急性期・総合医療センター 呼吸器内科 田中 智
 西宮市立中央病院 呼吸器内科 二木 俊江
 近畿中央病院 呼吸器内科 長 彰翁

【要望演題】 タルラタマブ使用経験①

14:25 ~ 15:29

座長 池田 慧
 関西医科大学 呼吸器腫瘍内科学講座

19. 小細胞肺癌に対してTarlatabamab投与後に好中球減少を呈した一例
 滋賀県立総合病院 呼吸器内科 ○梶原 佑一、阪森 優一、岡本 淳志、行村 瑠里子、野原 淳、石床 学、渡辺 寿規、中村 敬哉
20. 在宅酸素療法中に生じた小細胞肺癌の脳転移、髄膜播種に対しタルラタマブが奏功した1例
 京都中部総合医療センター 呼吸器内科 ○土井 悠暉、米本 湧蒔、廣瀬 和紀、伊達 紘二
21. 当科におけるタルラタマブの使用経験
 神戸大学医学部附属病院 呼吸器内科 ○矢谷 敦彦、桂田 直子、賀来 承、松岡 史憲、藤田 友佳、山崎 瞬、松尾 健二郎、立原 素子
 神戸大学医学部附属病院 病理部病理診断科 神保 直江
 神戸大学医学部附属病院 呼吸器内科、神戸大学医学部附属病院 病理部病理診断科 羽間 大祐

22. 当院におけるタルラタマブによるサイトカイン放出症候群（CRS）の検討
 兵庫医科大学 医学部 呼吸器・血液内科学
 ○徳田 麻佑子、前迫 哲史、長谷川 裕、田上 健太、
 金村 大地、脇田 悠、村田 卓嗣、太田 博章、
 近藤 孝憲、河村 直樹、神取 恭史、清田 稜太郎、
 多田 陽郎
 兵庫医科大学 医学部 呼吸器・血液内科学、兵庫医科大学 医学部 胸部腫瘍学特定講座
 藤本 大智、東山 友樹、柘木 芳樹、三上 浩司、
 大搦 泰一郎、高橋 良、南 俊行、栗林 康造、木島 貴志
23. 実臨床下における小細胞肺癌に対するタルラタマブの使用経験
 近畿大学 医学部内科学教室腫瘍内科部門 ○杉原 綾乃、金村 宙昌、大倉 將生、土肥 和佳、
 太田 龍一、高濱 隆幸、谷崎 潤子、田中 薫、
 米阪 仁雄、林 秀敏
 近畿大学奈良病院 腫瘍内科 村岡 未沙子
24. タルラタマブ投与後、発熱を欠き嘔気・嘔吐のみを契機にサイトカイン放出症候群が疑われた一例
 大阪急性期・総合医療センター 呼吸器内科 ○三輪 千華、新津 敬之
25. 当院におけるtarlatamabの使用状況
 石切生喜病院 呼吸器内科 ○吉本 直樹、等々力 輝、松井 恵利香、引石 惇仁、
 中濱 賢治、谷 恵利子、南 謙一、平田 一人
 石切生喜病院 呼吸器腫瘍内科 平島 智徳
26. タルラタマブによるサイトカイン放出症候群で急激な転帰を辿った一例
 兵庫県立淡路医療センター 呼吸器内科 ○桐生 辰徳、亀山 愛、雑賀 美怜、向田 諭史、
 吉村 遼佑、小谷 義一

【要望演題】タルラタマブ使用経験②

15:36 ~ 16:32

座長 佐藤 悠城
 神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科

27. 当院においてタルラタマブで治療を行った小細胞肺癌3例の検討
 大阪赤十字病院 呼吸器内科 ○山田 拓実、中川 和彦、吉田 奈生、池田 拓真、
 吉田 薫、矢野 翔平、高橋 祥太、山野 隆史、
 大木元 達也、石川 遼一、高岩 卓也、吉村 千恵、
 黄 文禧
28. 当院でタルラタマブを投与した高齢再発小細胞肺癌の2症例
 宝塚市立病院 呼吸器腫瘍内科 ○藤岡 毅、新名 航平、永木 佑一良、西村 駿、発 忠信、
 吉積 悠子、岡本 忠司、高瀬 直人、片上 信之

29. Tarlatamab導入直後に急性難治性疼痛およびサイトカイン放出症候群を呈した進展型小細胞肺癌の一例
神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科
○田中 尚登、佐藤 悠城、大塚 裕斗、杉山 貴康、池田 陽呂、平井 将隆、村上 莉奈、笹田 剛史、中山 真裕美、神戸 寛史、白川 千種、平林 亮介、永田 一真、富井 啓介、立川 良
神戸市立医療センター中央市民病院 腫瘍内科 永井 宏樹
30. 当院におけるTarlatamab（イムデトラ®）の使用経験およびフローチャートを介したCRS/ICANS発症抑制への取り組み
奈良県総合医療センター 呼吸器内科 ○佐藤 一郎、林 由佳、阪上 直子、渋谷 篤志、西崎 友哉、奥田 陽亮、伊佐敷 沙恵子、伊木 れい佳、花岡 健司、伊藤 武文
奈良医療センター 呼吸器内科 奥田 悠太郎
奈良県総合医療センター 呼吸器内科、奈良医療センター 呼吸器内科 松田 昌之
31. タルラタマブ投与後に肉腫様癌への形質転化をきたした一例
大阪国際がんセンター 呼吸器内科 ○國政 啓、田宮 基裕、井上 貴子、豆鞆 伸昭、田中 庸弘、小牟田 清英、二村 俊、西野 和美
大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科 本間 圭一郎
32. Tarlatamab投与におけるサイトカイン放出症候群（CRS）の発生パターンに関する検討
大阪国際がんセンター 呼吸器内科 ○田中 庸弘、田宮 基祐、井上 貴子、國政 啓、豆鞆 伸昭、二村 俊、小牟田 清英、西野 和美
33. 既治療小細胞肺癌に対するTarlatamabの使用経験
関西医科大学 呼吸器腫瘍内科 ○北川 真愛、竹安 優貴、荒木 啓吾、檜原 なつこの、永田 裕太郎、藤井 一起、吉田 清里、生駒 龍興、中濱 かほり、勝島 詩恵、山中 雄太、池田 慧、倉田 宝保

放射線治療・画像診断

16:39 ~ 17:11

座長 金田 裕靖
大阪公立大学大学院 医学研究科臨床腫瘍学

34. 多中心性キャスルマン病合併肺扁平上皮癌に対しCRTを完遂しICI非使用で治療した一例
兵庫医科大学 医学部 呼吸器・血液内科学 ○田上 健太、河村 直樹、脇田 悠、金村 大地、前迫 哲史、太田 博章、村田 卓嗣、近藤 孝憲、神取 恭史、村上 美沙、清田 稷太郎、東山 友樹、徳田 麻佑子
兵庫医科大学 医学部 呼吸器・血液内科学、兵庫医科大学 医学部 胸部腫瘍学特定講座
大搦 泰一郎、多田 陽郎、柘木 芳樹、藤本 大智、三上 浩司、高橋 良、南 俊行、栗林 康造、木島 貴志

35. 肺扁平上皮癌の化学放射線療法後に再発と鑑別を要した癒痕性気管支狭窄の一例
国立病院機構 大阪刀根山医療センター 呼吸器腫瘍内科
○杉澤 健太、川村 貴久、西島 良介、三橋 靖大、
原 伶奈、赤澤 結貴、矢野 幸洋、内田 純二、森 雅秀
36. 小細胞肺癌の治療後に発症し、転移性肺癌や肺結核との鑑別を要した扁平上皮肺癌の1例
大阪府済生会吹田病院 臨床研修センター ○宮川 伸
大阪府済生会吹田病院 呼吸器内科 上田 将秀、木村 脩人、岡田 吉弘、綿部 裕馬、
乾 佑輔、佐藤 いずみ、茨木 敬博、美藤 文貴、
岡田 あすか、竹中 英昭、長 澄人
37. 内因性リポイド肺炎を合併した切除不能局所進行期肺腺癌に対して化学放射線療法を施行し奏効を得た一例
和歌山県立医科大学 内科学第三講座 呼吸器内科・腫瘍内科
○西尾 和真、古田 勝之、宮井 優、加藤 真衣、
鍋谷 大二郎、打田 幸大、上田 亮太、高瀬 衣里、
村上 恵理子、早田 敦志、赤松 弘朗、中西 正典
和歌山県立医科大学 人体病理学講座 小島 史好
和歌山県立医科大学 内科学第三講座 呼吸器内科・腫瘍内科、
和歌山県立医科大学 バイオメディカルサイエンスセンター
泉 源浩、洪 康浩、山本 信之

第3会場

外科治療①

9:00～9:40

座長 大塩 恭彦
東近江総合医療センター 呼吸器外科

38. 小細胞癌を含む同一肺葉内同時性多発肺癌の一切除例
高槻赤十字病院 呼吸器外科、大阪医科薬科大学 胸部外科学
○進藤 友喜
高槻赤十字病院 呼吸器外科 長井 信二郎
39. 甲状腺に同時性孤発転移を認めた原発性肺腺癌の一例
大阪国際がんセンター 呼吸器外科 ○徳永 拓也、馬庭 知弘、力石 尚也、鮫島 弘睦、
小林 政雄、井口 貴文、岡見 次郎
大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科 本間 圭一郎
40. 進行癌に対する気道ステント留置後に抜去が可能であった4例の検討
京都府立医科大学 呼吸器外科学 ○奥 乃野香、古谷 竜男、下村 雅律、岡田 悟、
中園 千晶、内堀 篤樹、岡垣 志歩、井上 匡美
41. Nivolumab/Ipilimumabが著効して肉眼的完全切除を達成した、BRCA2遺伝子変異を認める胸膜中皮腫の1例
兵庫医科大学 呼吸器外科 ○中口 雄太、橋本 昌樹、大迫 隆敏、竹ヶ原 京志郎、
中村 晃史、黒田 鮎美、松本 成司、近藤 展行、
舟木 壮一郎
兵庫医科大学 病理診断科 山崎 隆、大江 知里
42. 同一肺葉内に異型腺腫様過形成と扁平上皮化生を伴う線毛性粘液結節性乳頭状腫瘍の1例
大阪大学医学部附属病院 呼吸器外科 ○福田 浩之、木村 亨、徳永 拓也、永田 秀樹、
木村 賢二、福井 絵里子、狩野 孝、大瀬 尚子、新谷 康
大阪大学医学部附属病院 病理診断科 森井 英一

外科治療②

9:45～10:25

座長 栢分 秀直
京都大学 呼吸器外科

43. 右肺尖部腫瘍に対しTransmanubrial approachで手術を行いノカルジア症であった症例
兵庫医科大学 呼吸器外科 ○中村 晃史、中口 雄太、大迫 隆敏、竹ヶ原 京志郎、
黒田 鮎美、松本 成司、橋本 昌樹、舟木 壮一郎
兵庫医科大学 病院病理部 山崎 隆
兵庫医科大学 呼吸器外科、兵庫医科大学 病院病理部
近藤 展行

44. 肺癌術後オリゴ縦隔リンパ節転移再発に対する放射線化学療法後、再燃に対しリンパ節切除を施行した1症例

兵庫医科大学 呼吸器外科 ○黒田 鮎美、中口 雄太、大迫 隆敏、竹ヶ原 京志郎、
中村 晃史、橋本 昌樹、松本 成司、近藤 展行、
舟木 壮一郎
兵庫医科大学 胸部腫瘍学講座 藤本 大智
兵庫医科大学 放射線科 富士原 将之
兵庫医科大学 呼吸器内科 木島 貴志

45. 肺扁平上皮癌手術症例におけるリンパ節直接転移症例とリンパ節転移症例の予後の比較検討
大阪大学 外科学講座呼吸器外科学 ○永田 秀樹、木村 賢二、福井 絵里子、木村 亨、
狩野 孝、大瀬 尚子、新谷 康

46. 後縦隔胸膜外に発生した上皮型中皮腫の一例

淡川キリスト教病院 臨床研修センター ○岩根 顕吾
淡川キリスト教病院 呼吸器外科 岡本 耀、伊藤 龍一、加地 政秀
淡川キリスト教病院 呼吸器内科 上野 峻輔、吉井 直子、紙森 隆雄、藤原 寛
淡川キリスト教病院 病理診断科 大谷 恭子
関西医科大学附属病院 病理診断科 蔦 幸治

47. 肺腺癌術後早期に右室腔占拠性腫瘍として発症した心臓転移の1例

淡海医療センター 呼吸器外科、滋賀医科大学 呼吸器外科
○林 一喜
淡海医療センター 呼吸器外科 喜田 裕介
淡海医療センター 心臓血管外科 島田 ゆうじ、白石 昭一郎
淡海医療センター 病理診断科 竹村 しづき
滋賀医科大学 呼吸器外科 花岡 淳、庄司 文裕
滋賀医科大学 心臓血管外科 鈴木 友彰

【要望演題】 稀少ドライバー遺伝子陽性患者

10:30 ~ 11:34

座長 谷崎 潤子
近畿大学医学部 内科学教室 腫瘍内科部門

48. FoundationOne CDxにて判明したALK遺伝子変異陽性肺腺癌の一例

奈良県立医科大学 呼吸器内科学講座 ○宇和田 若菜、嶋岡 直也、中川 靖仁、本保 太郎、
飯塚 正徳、太田 和輝、片岡 良介、西前 弘憲、
中村 真弥、古山 達大、古高 心、宮高 泰匡、
岩佐 佑美、春成 加奈子、藤岡 伸啓、長 敬翁、
谷村 和哉、山本 佳史、室 繁郎

49. 胸水検体からオンコマインDxTTでMET exon14 skippingを検出しテボチニブの導入に至った肺腺癌の1例

独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター 呼吸器科
○永井 隆寛、根来 和宏、鷲岡 篤司、萩原 慎
独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター 病理診断科
北市 正則

50. Li-Fraumeni症候群の同時多発肺癌経過中に切除した未分化多型肉腫肺転移の1例
 大阪大学医学部附属病院 呼吸器外科 ○西田 拓海、福田 浩之、今本 皓介、川岸 耕太郎、
 小菅 淳、福山 馨、永田 秀樹、木村 賢二、
 福井 絵里子、木村 亨、狩野 孝、大瀬 尚子、新谷 康
 大阪大学医学部附属病院 呼吸器内科 宮崎 暁人、白山 敬之
 大阪大学医学部附属病院 病理診断科 森井 英一
51. Amoy陰性もコンパクトパネルで稀なEGFR exon19遺伝子変異を検出し、オシメルチニブが奏効した肺腺癌の一例
 神戸低侵襲がん医療センター 呼吸器腫瘍内科 ○奥野 祐希子、山本 賢、平野 克也、島田 天美子、
 秦 明登
52. ROS-1陽性進行期肺腺癌に対してentrectinib耐性後にreprotrectinibを施行した1例
 関西医科大学 呼吸器腫瘍内科 ○今西 優、竹安 優貴、荒木 啓吾、北川 真愛、
 槇原 なつこの、永田 裕太郎、吉田 清里、生駒 龍興、
 中濱 かほり、勝島 詩恵、山中 雄太、池田 慧、
 倉田 宝保
53. エントレクチニブ投与後にクレアチニン上昇を認めたROS1融合遺伝子陽性肺腺癌の1例
 関西医科大学 呼吸器腫瘍内科 ○吉田 清里、竹安 優貴、荒木 啓吾、北川 真愛、
 槇原 なつこの、永田 裕太郎、藤井 一起、生駒 龍興、
 中濱 かほり、勝島 詩恵、山中 雄太、池田 慧、
 倉田 宝保
54. ALK融合遺伝子変異陽性進行非小細胞肺癌における1st line Alectinibの長期治療成績と治療シーク
 エンス：単施設後方視的研究
 大阪国際がんセンター 呼吸器内科 ○小牟田 清英、井上 貴子、二村 俊、田中 庸弘、
 豆鞆 伸昭、國政 啓、田宮 基裕、西野 和美
55. Trastuzumab Deruxtecanの薬剤性肺炎Grade2を生じ、のちに再投与をした一例
 加古川中央市民病院 呼吸器内科 ○堀 秀輔、堀 朱矢、中矢 日奈子、松尾 壮太、
 戸谷 梨沙、森田 敦視、坂田 悟郎、黒田 修平、
 友國 佳奈、徳永 俊太郎、小林 和幸、西馬 照明

ランチオンセミナー 3 肺癌診療ガイドライン2025年版に基づくHER2遺伝子変異陽性非小細胞肺癌の治療戦略：新たな治療選択肢ヘルネクシオスの可能性

11:50 ~ 12:40

座長 川口 知哉
 大阪公立大学大学院医学研究科 臨床腫瘍学

『肺癌診療ガイドライン2025年版に基づくHER2遺伝子変異陽性非小細胞肺癌の治療戦略：新たな治療選択肢ヘルネクシオスの可能性』

林 秀敏
 近畿大学医学部 腫瘍内科

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

チーム医療・緩和ケア・有害事象

13:30～14:02

座長 大田 正秀
奈良県立医科大学 がんゲノム・腫瘍内科学講座

56. イピリムマブ+ニボルマブ併用療法中に発症した赤芽球癆の一例
兵庫医科大学 医学部 呼吸器・血液内科学 ○金村 大地、神取 恭史、村田 卓嗣、前迫 哲史、
田上 健太、太田 博章、脇田 悠、長谷川 裕、
近藤 孝憲、河村 直樹、清田 穰太郎、徳田 麻佑子、
多田 陽郎
兵庫医科大学 医学部 呼吸器・血液内科学、兵庫医科大学 医学部 胸部腫瘍学特定講座
三上 浩司、祢木 芳樹、大搦 泰一郎、高橋 良、
南 俊行、栗林 康造、木島 貴志
57. 高齢肺癌患者におけるBioelectrical Impedance Analysis の位相角と細胞外水分比の身体機能評価としての意義: 単施設後方視的検討
石切生喜病院 リハビリテーション室 ○高橋 佑生、二宮 将輝、水越 佳汰、小畑 空
石切生喜病院 呼吸器腫瘍内科 平島 智徳
石切生喜病院 呼吸器内科 吉本 直樹、等々力 輝、松井 恵利香、引石 惇仁、
中濱 賢治、谷 恵利子、南 謙一、平田 一人
58. がん薬物療法を受けた高齢者肺癌におけるG8、体重減少、生体電気インピーダンス分析を用いた高齢者機能評価: 単施設後方視的検討
石切生喜病院 呼吸器内科 ○吉本 直樹、等々力 輝、松井 恵利香、引石 惇仁、
中濱 賢治、谷 恵利子、南 謙一、平田 一人
石切生喜病院 リハビリテーション室 渡り 祐典、高橋 佑生、二宮 将輝、水越 佳汰、小畑 空
石切生喜病院 栄養管理室 西銘 麻友、小山田 望
石切生喜病院 呼吸器腫瘍内科 平島 智徳
59. ペムブロリズマブ投与中に心膜炎及び大動脈炎を発症し免疫関連有害事象と診断した肺腺癌の症例
京都市立病院 呼吸器内科 ○米田 奈央、山添 正敏、高田 直秀、太田 登博、
吉岡 秀敏、五十嵐 修太、小林 祐介、小熊 毅

薬物療法②

14:07～14:55

座長 田村 洋輔
大阪医科薬科大学 呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科

60. オシメルチニブ投与後に薬剤性大動脈炎が疑われた1例
神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科 ○池田 陽呂、笹田 剛史、佐藤 悠城、大塚 裕斗、
杉山 貴康、田中 尚登、中山 真裕美、平井 将隆、
村上 莉奈、神戸 寛史、白川 千種、平林 亮介、
永田 一真、立川 良、富井 啓介
神戸市立医療センター中央市民病院 総合内科 前川 和輝

61. 進行非小細胞肺癌に対するニボルマブ+イピリムマブ併用療法のPS別治療成績に関する後方視的解析
NHO 近畿中央呼吸器センター 内科 ○甘中 亮佑、田宮 朗裕、小林 裕、住谷 仁、大下 一輝、
足立 雄一、西原 昂、谷口 善彦、小林 岳彦、
松田 能宣、滝本 宜之、沖塩 協一
62. 複合免疫療法に部分奏効を示した進行期胸部NUT癌の1例
京都府立医科大学大学院医学研究科 呼吸器内科学
○酒井 健紀、石田 真樹、古室 太誠、狩野 友花里、
河内 勇人、西岡 直哉、岩破 將博、徳田 深作、
山田 忠明、高山 浩一
京都府立医科大学大学院医学研究科 整形外科 篠藤 亮介、井辻 智典
京都府立医科大学大学院医学研究科 臨床病理学
武田 奈央子、田中 顕之
63. PSLおよびInfliximab不応のirAE大腸炎に対してTofacitinibが奏効した一例
神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科
○村上 莉奈、笹田 剛史、佐藤 悠城、大塚 裕斗、
杉山 貴康、田中 尚登、池田 陽呂、平井 将隆、
中山 真裕美、神戸 寛史、白川 千種、平林 亮介、
永田 一真、富井 啓介、立川 良
神戸市立医療センター中央市民病院 腫瘍内科 永井 宏樹
神戸市立医療センター中央市民病院 消化器内科
高折 克至、井上 聡子
64. Amivantamabによる薬剤性肺障害を発症したEGFR Exon20挿入変異陽性肺腺癌の一例
兵庫県立淡路医療センター ○向田 諭史、吉村 遼佑、亀山 愛、雑賀 美怜、
桐生 辰徳、小谷 義一
65. EGFR変異陽性患者におこったneo-adjuvant therapy (NAC) 4症例の当院での治療経験
宝塚市立業院 呼吸器内科・腫瘍内科 ○永木 佑一良、新名 航平、藤岡 毅、西村 駿、発 忠信、
吉積 悠子、岡本 忠司、高瀬 直人、片上 信之
大阪はびきの医療センター 呼吸器外科 北原 直人

【要望演題】縦隔腫瘍/中皮腫

15:00 ~ 16:04

座長 藤本 大智
兵庫医科大学医学部 呼吸器・血液内科学 胸部腫瘍学

66. エベロリムスにより病勢安定を得た胸腺神経内分泌腫瘍の一例
兵庫医科大学 医学部 呼吸器・血液内科学 ○前迫 哲史、長谷川 裕、徳田 麻佑子、金村 大地、
田上 健太、太田 博章、村田 卓嗣、脇田 悠、
河村 直樹、神取 恭史、近藤 孝憲、村上 美沙、
清田 穰太郎
兵庫医科大学 医学部 胸部腫瘍学特定講座 米田 和恵
兵庫医科大学 医学部 病理診断科 山崎 隆、大江 知里
兵庫医科大学 医学部 呼吸器・血液内科学、兵庫医科大学 医学部 胸部腫瘍学特定講座
藤本 大智、東山 友樹、多田 陽郎、柘木 芳樹、
大搦 泰一郎、三上 浩司、高橋 良、南 俊行、
栗林 康造、木島 貴志
67. 診断に難渋した前縦隔リンパ球豊富型ホジキンリンパ腫の1例
近畿大学 医学部内科学教室腫瘍内科 ○小澤 実那、渡邊 諭美、紺屋 友希、村岡 未沙子、
田中 薫、林 秀敏
近畿大学 医学部内科学教室血液・膠原病内科 井上 舞子、深野 あや乃、三宅 義昭、頼 晋也
近畿大学 医学部外科学教室呼吸器外科 西野 将矢、小原 秀太、津谷 康大
68. 胸膜外肺全摘術後1年4か月に白血病を診断されたが、術後9年4か月生存中の胸膜中皮腫の1例
ベルランド総合病院 呼吸器外科 ○岡部 和倫、古河 奈央、小松 弘明
69. 多発肺転移を伴うType A胸腺腫の1切除例
大阪市立総合医療センター 呼吸器外科 ○河内 寛之、丁 奎光、岸本 和也、岡田 諭志、中嶋 隆、
月岡 卓馬
70. 胸腺カルチノイドに対してペプチド受容体放射性核種療法（PRRT）が奏功した1例
大阪大学 呼吸器・免疫内科学 ○山内 桂二郎、仲谷 勇輝、宮崎 暁人、塚口 晃洋、
岩橋 佑樹、刀祢 麻里、榎本 貴俊、内藤 真依子、
内藤 祐二郎、福島 清春、白山 敬之、三宅 浩太郎、
平田 陽彦、武田 吉人
71. 術前動脈血に多数の血管内皮様細胞クラスターを認めた正岡I期胸腺癌の一例
川西市立総合医療センター 呼吸器外科 ○橋本 渚、澤端 章好
川西市立総合医療センター 病理診断科 伊藤 敬
72. 切除不能胸膜中皮腫に対するニボルマブ+イピリムマブ治療21例の検討
独立行政法人国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 呼吸器内科
○小林 裕、田宮 朗裕、甘中 亮佑、住谷 仁、大下一輝、
足立 雄一、谷口 善彦、小林 岳彦、沖塩 協一

73. 重症筋無力症（MG）合併胸腺腫の術前化学療法中に、MGクリーゼとの鑑別を要した脳梗塞の1例
近畿大学病院 医学部内科学教室腫瘍内科部門

○紺屋 友希、谷崎 潤子、村岡 未沙子、小澤 実那、
杉原 綾乃、金村 宙昌、高濱 隆幸、田中 薫、林 秀敏

近畿大学病院 医学部内科学教室脳神経内科部門

渡部 瑛恵、福本 雄太、永井 義隆

近畿大学病院 医学部内科学教室脳神経内科部門、近畿大学病院 リハビリテーション医学教室

稲田 莉乃

基礎・トランスレーショナル研究/その他

16:09 ~ 17:13

座長 立原 素子

神戸大学大学院医学研究科 内科学講座呼吸器内科学分野

74. 新規肺癌治療候補薬（Cephalomannine）と第三世代EGFRチロシンキナーゼ阻害剤の併用療法に関する基礎的研究

大阪公立大学大学院 医学研究科 呼吸器外科学

○谷村 卓哉、新城 祈清、八百 彩圭、上野 彩帆、
木下 広敬、鈴木 智詞、原 幹太郎、井上 英俊、
水口 真二郎、宗 淳一

75. 肝原発小細胞癌に対してカルボプラチン+エトポシド併用療法中に偽性肝硬変を来した一例

和歌山県立医科大学 内科学第三講座 ○加藤 真衣、赤松 弘朗、西尾 和真、上田 亮太、
中口 恵太、宮井 優、高瀬 衣里

和歌山県立医科大学 内科学第二講座 長井 善隆

和歌山県立医科大学 内科学第三講座、和歌山県立医科大学 バイオメディカルサイエンスセンター

洪 泰浩、山本 信之

76. 非小細胞肺癌に対する化学療法中に小腸転移による腸重積を認め、切除した回盲部組織からLCNECと診断した肺癌の1例

松下記念病院 臨床研修医 ○太田 羽奏

松下記念病院 呼吸器内科 西川 晶、山岡 燎平、榎井 太輝、山田 崇央

77. 治療終了12年後に脳転移で再発を来したALK融合遺伝子変異陽肺腺癌の1例

大阪医科薬科大学 内科学 I ○池田 宗一郎、新井 将弘、松永 仁綜、鶴岡 健二郎、
中村 敬彦、今川 彰久

大阪医科薬科大学 臨床研究センター 辻 博行

大阪医科薬科大学 脳神経外科 川端 信司

大阪医科薬科大学 呼吸器外科 花岡 伸治

大阪医科薬科大学 腫瘍内科学 田村 洋輔、藤阪 保仁

78. エトポシド投与5年後に治療関連白血病を発症した小細胞肺癌の一例

関西医科大学 呼吸器腫瘍内科学講座 ○荒木 啓吾、北川 真愛、楨原 なつの、藤井 一起、

永田 裕太郎、吉田 清里、生駒 龍興、中濱 かほり、

竹安 優貴、山中 雄太、勝島 詩恵、池田 慧、倉田 宝保

79. 急速な増大に伴う左主気管支完全閉塞を呈し、病理学的診断が困難であった小葉状毛細血管腫の1例
大阪はびきの医療センター 肺腫瘍内科 ○田邊 英高、佐藤 真吾、加藤 聡一郎、和田 紘実、
小牟田 里以子、横山 将史、柳瀬 隆文、益弘 健太郎、
森下 直子、鈴木 秀和
大阪はびきの医療センター 病理診断科 森 秀夫、上田 佳世
80. 化学放射線療法中の大量咯血にVV-ECMOで対応し、免疫療法で長期完全寛解を得た肺扁平上皮癌の一例
神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科
○杉山 貴康、平林 亮介、佐藤 悠城、田中 尚人、
大塚 裕斗、村上 莉菜、平井 将隆、池田 陽呂、
中山 真裕美、神戸 寛史、白川 千種、永田 一真、
富井 啓介、立川 良
明石医療センター 呼吸器内科 池田 美穂、畠山 由記久
神戸市立医療センター中央市民病院 救急科 瀬尾 龍太郎
81. N2a/N2b細分化におけるSkip N2症例の意義
大阪公立大学 呼吸器外科学 ○木下 広敬、上野 彩帆、谷村 卓哉、鈴木 智詞、
原 幹太郎、井上 英俊、水口 真二郎、宗 淳一